

三菱電機  
設備用パッケージエアコン  
別売品  
高静圧モーター

形名  
PAC-CW55MR

据付工事説明書（販売店・工事店様用）

もくじ	
安全のために必ず守ること	2
1. 使用部品	4
1-1. 同梱部品	4
1-2. 一般市販部品	4
2. 据付工事の概要	5
2-1. 使用部品の取付位置	5
3. 据付場所の選定	6
4. 据付工事	6
4-1. 据付前の準備	6
4-2. 配線接続要領	6
5. 据付工事後の確認	10
5-1. 据付工事のチェックリスト	10
6. 試運転	11
6-1. 試運転の方法	11
6-2. 試運転中の確認事項	11
7. お客様への説明	12
7-1. エンドユーザー向け特記事項	12
8. 安全に長くお使いいただくために	13
8-1. 日常の保守	13

このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

- ご使用前に、この取付説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この取付説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。
- 「取付説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、取付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

# 安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



## 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



## 注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般注意)



(発火注意)



(感電注意)



(一般指示)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しく下さい。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。



## 警告

電気配線工事は「第一種電気工事士」の資格のある者が行うこと。

## 一般事項



## 警告

改造はしないこと。

- けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- 火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、関係するユニットすべての主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。



感電注意

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行



## 注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から5分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



接触禁止

作業するときは保護具を身につけること。

- けがのおそれあり。



けが注意

## 運搬・取付作業をするときに

### ⚠ 注意

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- けがのおそれあり。



運搬禁止

## 取付作業をするときに

### ⚠ 警告

梱包材は破棄すること。

- 窒息事故のおそれあり。



指示を実行

### ⚠ 注意

販売店または専門業者が取付説明書に従って取付作業を行うこと。

- けが・感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

## 電気工事をするときに

### ⚠ 警告

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

配線端子のねじは規定のトルクで締めること。

- ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

電気工事をする前に、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。



感電注意

電気工事は第一種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および取付説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

## 移設・修理をするときに

### ⚠ 警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

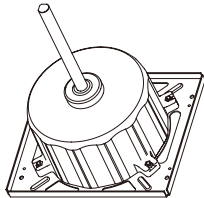
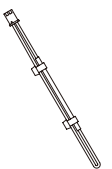

- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

# 1. 使用部品

## 1-1. 同梱部品

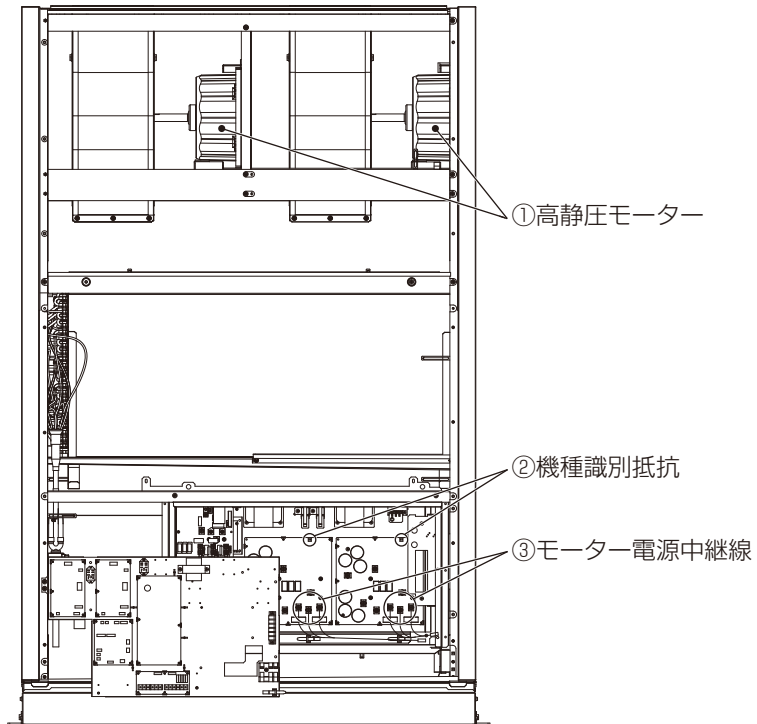
No.	①	②	③
部品名	高静圧モーター	機種識別抵抗	モーター電源中継線
形状		 配線色：白	
個数	1	1	1

## 1-2. 一般市販部品

一般市販部品は使用しません。

## 2. 据付工事の概要

### 2-1. 使用部品の取付位置



## 3. 据付場所の選定

既設ユニット本体からの部品交換となります。

## 4. 据付工事

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



接触禁止

### 4-1. 据付前の準備

高静圧モーターを梱包材から取り出してください。

### 4-2. 配線接続要領

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

配線端子のねじは規定のトルクで締めること。

- ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

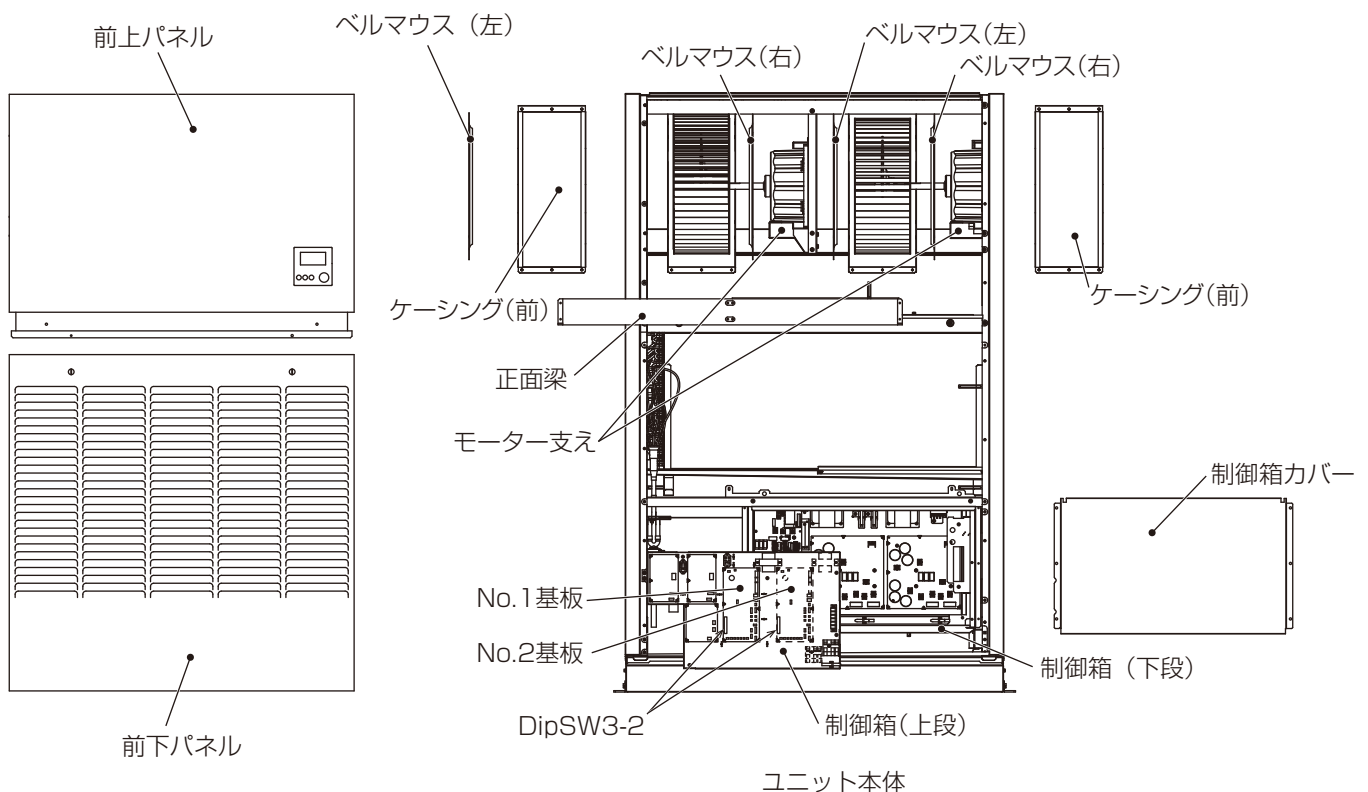
- 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

## 手順

1. 前下パネルを取外してください。(ツマミねじ：2本)
2. リモコンの中継コネクタを外し、前上パネルを取外してください。(座付ねじ：2本)
3. 正面梁を取外してください。[図 1] (座付ねじ：6本)
4. ベルマウス (左・右) を取外してください。[図 2] (座付ねじ：4本×4)  
ベルマウス (右) はモーターシャフトに引っ掛かった状態にしてください。[図 3]
5. 左右のケーシング前を取外してください。[図 4] (座付ねじ：6本×2)
6. 制御箱のカバーを取外してください。(座付ねじ：6本)
7. 制御箱内部の中継コネクタを外し、モーター配線をモーター台の上まで引き上げてください。  
※モーター配線を引き上げる際に、サイドパネル断熱材を傷つけないようにしてください。
8. モーター台固定ねじを外してください。[図 5] (座付ねじ：4本×2)
9. モーターとシロッコファンは図 3 の状態でユニットから取外してください。  
※シャフトに引っ掛かっているベルマウスに注意して作業してください。
10. モーターからシロッコファンを取外しモーターを交換した後、図 3 の状態まで組立ててください。  
※モーターシャフトのDカット2カ所とファンセットねじ2カ所を合わせ仮止めしてください。(セットねじ：4本)  
その際モーターシャフト先端とボスは面合わせにしてください。[図 6]
11. 組立てたモーターセットをユニットに取付けてください。取付けには 8 で外した座付ねじを使用してください。[図 5]
12. ケーシングとファンの両側のクリアランスが均等になる位置でファンのセットねじを締めてください。  
※セットねじの締付トルク 10N・m
13. DipSW3-2 を「OFF」から「ON」に変更してください。  
※ No.2 基板は XP 形のみです。
14. 制御箱の上段を外し (座付ねじ：4本)、下段の基板が見える状態にしてください。  
※サーミスタ配線、LEV 配線、室内外伝送線、M-NET リモコン線を基板から取外してから制御箱の上段を取外してください。[図 7]
15. 下段の基板上部のコネクタ「CNTYP」に②機種識別抵抗を差し込んでください。[図 7]  
※2枚の基板それぞれに差し込んでください。
16. 下段の基板下部のモーター電源中継線を取外し、付属の③モーター電源中継線を図 7 のように取付けてください。  
※モーターセンサー中継線はそのまま使用しますので、取外さないでください。
17. モーター配線を③モーター電源中継線とモーターセンサー中継線のコネクタに差し込んでください。  
左側のモーター配線のコネクタは図 7 に示す基板 (左) からの中継線のコネクタに差し込んでください。  
右側のモーター配線のコネクタは図 7 に示す基板 (右) からの中継線のコネクタに差し込んでください。
18. 取外した部品・配線をそれぞれ元通りに取付けてください。



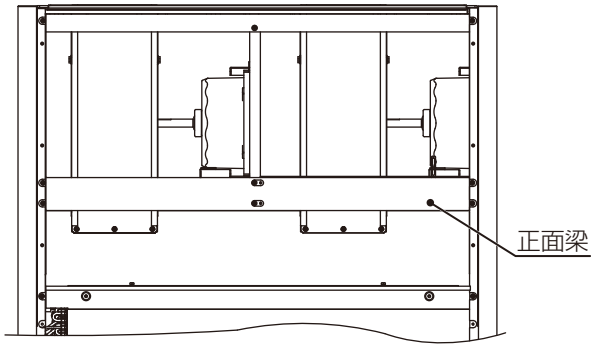


図 1

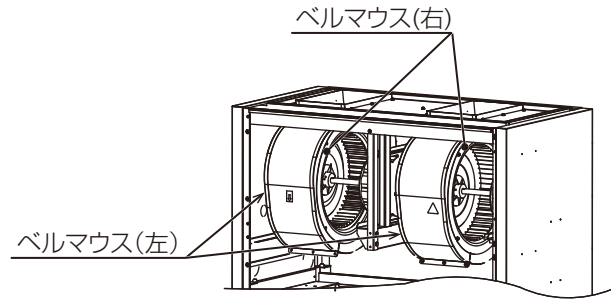


図 2

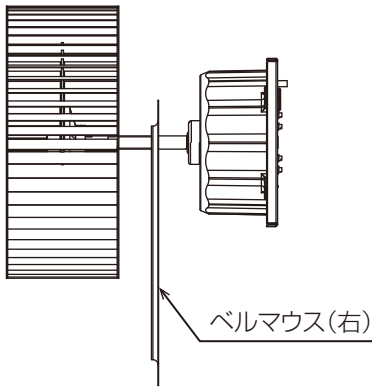


図 3

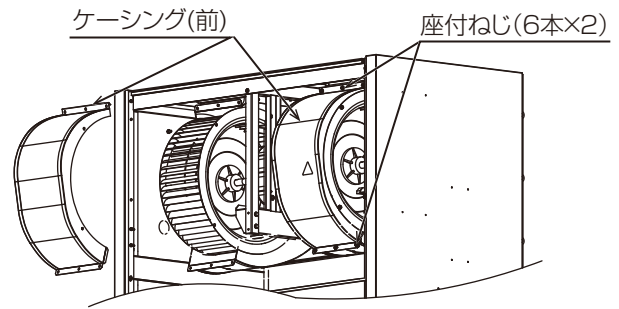


図 4

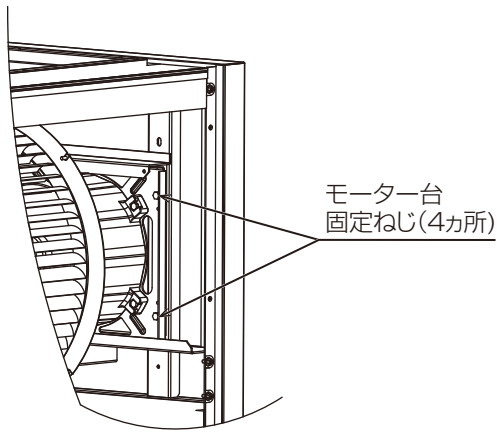


図 5

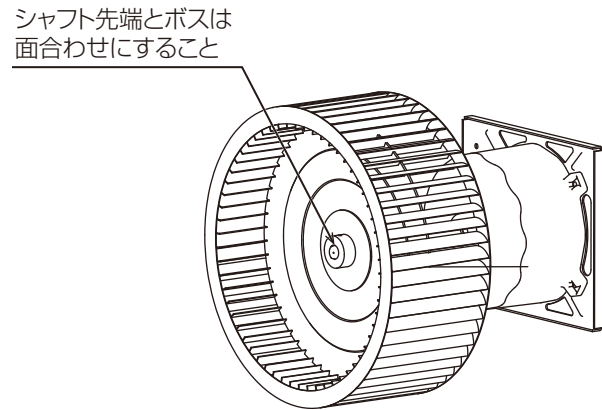


図 6



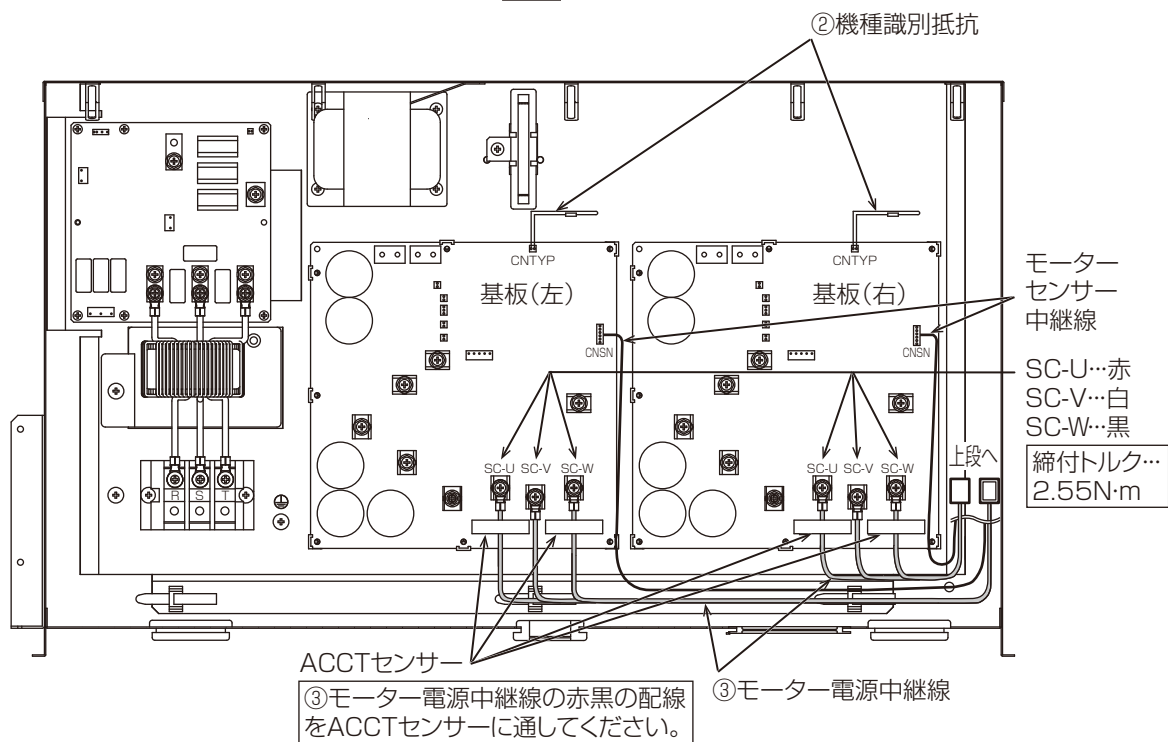
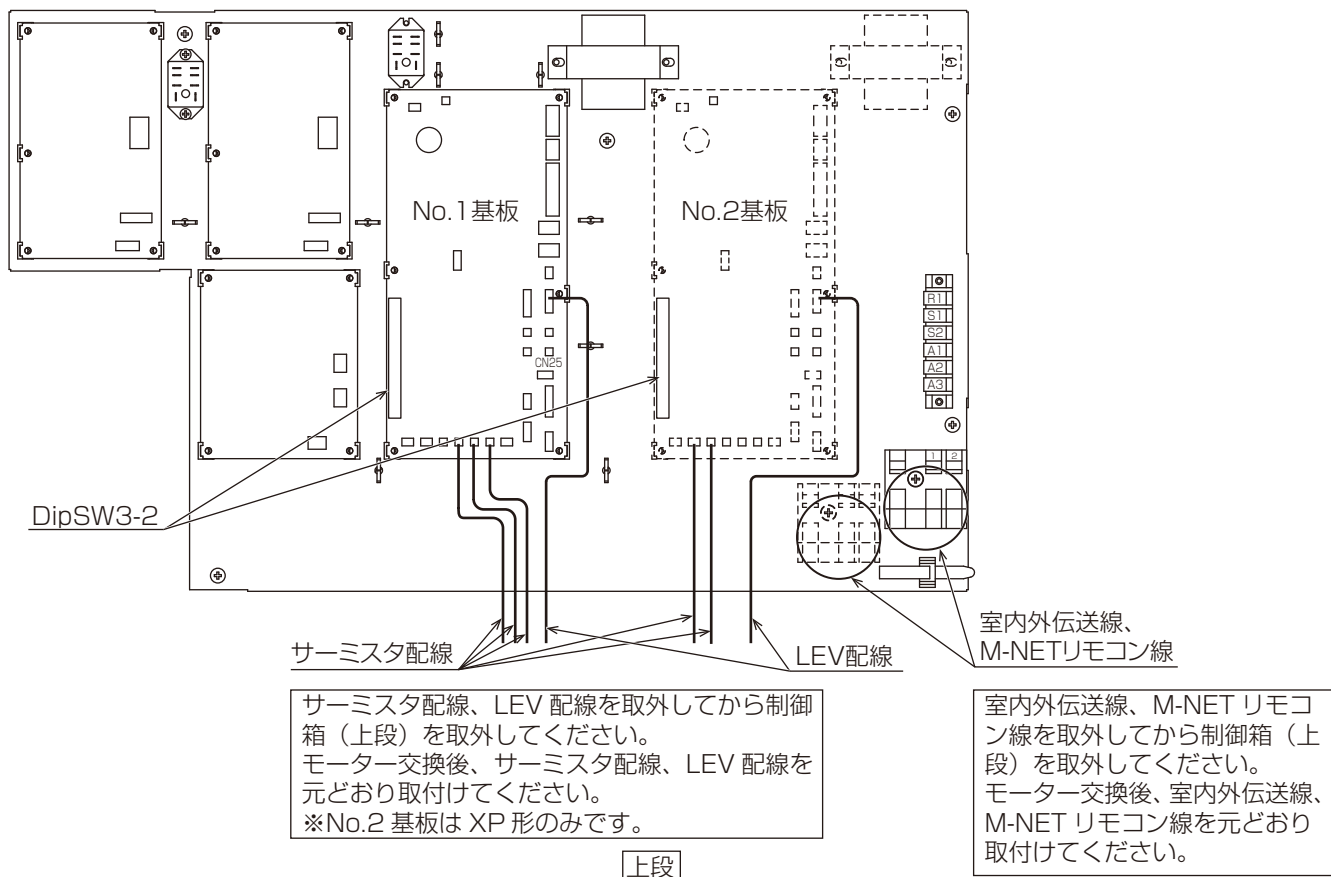


図 7

室内ユニット 電線太さ及び開閉器容量

形名	電動機出力	電線太さ		漏電遮断器 ※1	手元開閉器		配線用 遮断器	最大こう長 ※4	室内ユニット 最大電流
		電源配線	アース		開閉器容量	過電流保護器			
PFAV-P450・560DMJ1 (高静圧) PFAV-XP450・560DMJ (高静圧)	3.0kW × 2	5.5mm <sup>2</sup>	5.5mm <sup>2</sup>	30A ※3	30A	30A (B種ヒューズ)	30A	31.0m	19.6A

※1 電源には必ずインバーター回路用漏電遮断器（三菱電機 NV-C シリーズまたは、その同等品）を取付けてください。

※2 加熱器等を組込んで本体と同一電源にする場合は、内線規程に従って再選定してください。

※3 漏電遮断器は感度 30mA 0.1s 以下を使用してください。

※4 電源配線のこう長は電源から室内ユニットまでの電圧降下 2%時の電線最大こう長を示します。

## 5. 据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。  
不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

### 5-1. 据付工事のチェックリスト

	確認項目	確認結果
高静圧モーター取付	モーター台は所定のねじで固定されていますか	
	シロッコファンとケーシングの両側のクリアランスは均等になっていますか	
	シロッコファンはモーターシャフトにセットねじで固定されていますか	
	高静圧モーターの配線コネクタは接続されていますか	
	サーミスタ配線、LEV 配線、室内外伝送線、M-NET リモコン線は正しく取付けていますか	
	取付けたモーターの定格銘板に「3.0kW」、「KB61Y076G02」と記載されていますか また、取付けたモーターの配線に白色のテープが巻かれていますか	
コネクタ取付	INV 基板のコネクタ「CNTYP」に付属の「機種識別抵抗 (配線色:白)」が取付けられていますか	
配線取付	モーター電源中継線は基板に正しく取付けられていますか	
	モーター電源中継線とモーターセンサー線が左右で逆になっていませんか	
SW 設定	No.1、No.2 制御基板の DipSW3-2 は「ON」になっていますか (No.2 基板は機種により存在しないものもあります)	
リモコン設定 ※	機外静圧設定が正しく設定されていますか	

※ 機外静圧設定については、室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

## 6. 試運転

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- ◆ 火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

お客様立ち会いで試運転を行ってください。

### 6-1. 試運転の方法

#### 6-1-1. 運転

##### 手順

1. 設備用パッケージエアコンの電源を投入する。
2. 設備用パッケージエアコンを運転する。

### 6-2. 試運転中の確認事項

著しい振動・異常音がないか確認してください。

---

# 7. お客様への説明

---

## 7-1. エンドユーザー向け特記事項

- お使いになる方に正しい使い方をご説明ください。  
お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様にご説明ください。
- 「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- この据付工事説明書は、据付け後、お使いになる方にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合、この据付工事説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。

## 8. 安全に長くお使いいただくために

### 8-1. 日常の保守

運転中および運転停止直後の電気部品  
に素手で触れないこと。

- 火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッ  
チ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

---

# MEMO

---

---

# MEMO

---

## 三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

## 三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

WT08222X03